

# 土木工事積算基準 の 改定・追加・訂正

適用年月日  
(令和6年(2024年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	ページ	現 行	改 定	備 考
共通編 102 共通工	共通 - 2	<p>102-160 排水構造物工 「土木工事標準積算基準書(共通編)第II編 共通工 第2章 共通工 ㊦ 排水構造物工 ㊦-1排水構造物工」を適用する。 なお、鉄筋コンクリート管設置工、プレキャスト基礎板設置、皿形側溝設置、2800kgを超える柵設置工は「運用資料」を適用する。</p> <p>102-170 排水構造物工(管(函)渠型側溝・溶接金網及び埋設鋼板型枠) 「土木工事標準積算基準書(共通編)第II編 共通工 第2章 共通工 ㊦ 排水構造物工 ㊦-2排水構造物工(管(函)渠型側溝・溶接金網及び埋設鋼板型枠)」を適用する。</p> <p>102-170 排水構造物工(現場打ち水路(本体)) 「土木工事標準積算基準書(共通編)第II編 共通工 第2章 共通工 ㊦ 排水構造物工 ㊦-2排水構造物工(現場打ち水路(本体))」を適用する。</p>	<p>102-160 排水構造物工 「土木工事標準積算基準書(共通編)第II編 共通工 第2章 共通工 ㊦ 排水構造物工 ㊦-1排水構造物工」を適用する。 なお、鉄筋コンクリート管設置工、プレキャスト基礎板設置、皿形側溝設置、2800kgを超える柵設置工は「運用資料」を適用する。</p> <p>~~~~~</p> <p>~~~~~</p> <p>~~~~~</p> <p>102-170 排水構造物工(現場打ち水路(本体)) 「土木工事標準積算基準書(共通編)第II編 共通工 第2章 共通工 ㊦ 排水構造物工 ㊦-2排水構造物工(現場打ち水路(本体))」を適用する。</p>	誤記の 訂正
共通編 102 共通工 運用資料	共通 - 1 2	<p>102-060 コンクリートブロック積(張)工</p> <p>1. 連節ブロック清掃工</p> <p>1-1 適用範囲 本資料は、連節ブロック150kg/個未満の再設置に係るブロック清掃に適用する。</p>	<p>102-060 コンクリートブロック積(張)工</p> <p>1. 連節ブロック清掃工</p> <p>1-1 適用範囲 本資料は、連節ブロック150kg/個未満の再設置に係るブロック清掃に適用する。</p>	誤記の 訂正
共通編 105 仮設工 目次	2 ページ目	<p>105-320 河川工事の結氷対策工 .....仮設 - 65</p> <p>105-330 除雪工 .....仮設 - 69</p> <p>105-340 環境対策資機材(クリーンルーム・負圧集塵装置)設置撤去工 .....仮設 - 69</p>	<p>105-320 河川工事の結氷対策工 .....仮設 - 65</p> <p>105-330 除雪工 .....仮設 - 69</p> <p>105-340 環境対策資機材(クリーンルーム・負圧集塵装置)設置撤去工 .....仮設 - 72</p>	誤記の 訂正

# 土木工事積算基準 の 改定・追加・訂正

適用年月日  
(令和6年(2024年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	ページ	現 行	改 定	備 考																																																																			
共通編 105 仮設工 運用資料 105-330 除雪工	仮設 - 70	<p>2. 施工歩掛 105-330-01 人力除雪</p> <p style="text-align: right;">施工単価コード DX081000</p> <p style="text-align: center;">表2.1 人力除雪歩掛 (10m3当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>人 力 除 雪</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>0.36</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 機械除雪が困難な場合に適用する。 2. 諸雑費は人力除雪に使用するスコップ等の費用であり、労務費に上表の率を乗じた金額を計上する。 3. 仮囲い屋根部の除雪については、「土木工事標準積算基準書(共通編)第5章 仮設工 雪寒仮囲い工」によること。</p> <p>105-330-02 工事用道路除雪</p> <p style="text-align: right;">施工単価コード DX081100</p> <p style="text-align: center;">表2.2 工事用道路除雪歩掛 (1km当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">施 工 延 長</th> <th colspan="2">除 雪 深</th> </tr> <tr> <th>10cm以上 30cm以下</th> <th>31cm以上 60cm以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">ホイールローダ 運転</td> <td rowspan="3">排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.3~1.4m(バケツ)</td> <td rowspan="3">日</td> <td>1.5km未満</td> <td>1.34</td> <td>1.52</td> </tr> <tr> <td>1.5km以上 3.0km以下</td> <td>0.42</td> <td>0.82</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 工事用道路の除雪に適用し、現場の作業場等の除雪には適用しない。 2. 除雪回数の積上げについては、必要回数を計上する。 3. 除雪深が範囲を超えている場合は、補正係数(積雪深補正)をかけて積算する。(例参照) 4. 対象延長の適用範囲を超えている場合はセット数を増やす。</p> <p>例1) 対象除雪深が70cmの場合(施工延長1.5km以上3.0km未満) 10~30cmと31~60cmとの歩掛から、30cm積雪深が増える毎にホイールローダの作業は0.40日増となっている。 <math display="block">\{0.82日 + 0.40日 \times (70 - 60) \div 30\} \div 0.82日 = 1.16 \dots \dots \text{補正係数}</math></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>10cm以上 30cm未満</th> <th>30cm以上 60cm以下</th> <th>差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.42</td> <td>0.82</td> <td>0.40</td> </tr> </tbody> </table> <p>※補正係数及び補正後の歩掛値(運転日数)は小数第2位までとし、小数第3位を四捨五入する。</p> <p style="text-align: center;">仮設 - 70</p>	名 称	単 位	人 力 除 雪	普通作業員	人	0.36	諸 雑 費 率	%	1	名 称	規 格	単 位	施 工 延 長	除 雪 深		10cm以上 30cm以下	31cm以上 60cm以下	ホイールローダ 運転	排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.3~1.4m(バケツ)	日	1.5km未満	1.34	1.52	1.5km以上 3.0km以下	0.42	0.82	10cm以上 30cm未満	30cm以上 60cm以下	差	0.42	0.82	0.40	<p>2. 施工歩掛 105-330-01 人力除雪</p> <p style="text-align: right;">施工単価コード DX081000</p> <p style="text-align: center;">表2.1 人力除雪歩掛 (10m3当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td>人</td> <td>0.04</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>0.43</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 機械除雪が困難な場合に適用する。 2. 諸雑費は人力除雪に使用するスコップ等の費用であり、労務費に上表の率を乗じた金額を計上する。 3. 仮囲い屋根部の除雪については、「土木工事標準積算基準書(共通編)第5章 仮設工 雪寒仮囲い工」によること。</p> <p>105-330-02 工事用道路除雪</p> <p style="text-align: right;">施工単価コード DX081100</p> <p style="text-align: center;">表2.2 工事用道路除雪歩掛 (1km当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">施 工 延 長</th> <th colspan="2">除 雪 深</th> </tr> <tr> <th>10cm以上 30cm未満</th> <th>31cm以上 60cm以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">ホイールローダ 運転</td> <td rowspan="3">排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.3~1.4m(バケツ)</td> <td rowspan="3">日</td> <td>1.5km未満</td> <td>1.34</td> <td>1.52</td> </tr> <tr> <td>1.5km以上 3.0km以下</td> <td>0.42</td> <td>0.82</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 工事用道路の除雪に適用し、現場の作業場等の除雪には適用しない。 2. 除雪回数の積上げについては、必要回数を計上する。 3. 除雪深が範囲を超えている場合は、補正係数(積雪深補正)をかけて積算する。(例参照) 4. 対象延長の適用範囲を超えている場合はセット数を増やす。</p> <p>例) 対象除雪深が70cmの場合(施工延長1.5km以上3.0km以下) 10~30cmと31~60cmとの歩掛から、30cm積雪深が増える毎にホイールローダの作業は0.40日増となっている。 <math display="block">\{0.82日 + 0.40日 \times (70 - 60) \div 30\} \div 0.82日 = 1.16 \dots \dots \text{補正係数}</math></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>10cm以上 30cm未満</th> <th>30cm以上 60cm以下</th> <th>差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.42</td> <td>0.82</td> <td>0.40</td> </tr> </tbody> </table> <p>※補正係数及び補正後の歩掛値(運転日数)は小数第2位までとし、小数第3位を四捨五入する。</p> <p style="text-align: center;">仮設 - 70</p>	名 称	単 位	数 量	土木一般世話役	人	0.04	普通作業員	人	0.43	諸 雑 費 率	%	2	名 称	規 格	単 位	施 工 延 長	除 雪 深		10cm以上 30cm未満	31cm以上 60cm以下	ホイールローダ 運転	排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.3~1.4m(バケツ)	日	1.5km未満	1.34	1.52	1.5km以上 3.0km以下	0.42	0.82	10cm以上 30cm未満	30cm以上 60cm以下	差	0.42	0.82	0.40	歩掛の改定 及び 誤記の訂正
名 称	単 位	人 力 除 雪																																																																					
普通作業員	人	0.36																																																																					
諸 雑 費 率	%	1																																																																					
名 称	規 格	単 位	施 工 延 長	除 雪 深																																																																			
				10cm以上 30cm以下	31cm以上 60cm以下																																																																		
ホイールローダ 運転	排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.3~1.4m(バケツ)	日	1.5km未満	1.34	1.52																																																																		
			1.5km以上 3.0km以下	0.42	0.82																																																																		
			10cm以上 30cm未満	30cm以上 60cm以下	差																																																																		
0.42	0.82	0.40																																																																					
名 称	単 位	数 量																																																																					
土木一般世話役	人	0.04																																																																					
普通作業員	人	0.43																																																																					
諸 雑 費 率	%	2																																																																					
名 称	規 格	単 位	施 工 延 長	除 雪 深																																																																			
				10cm以上 30cm未満	31cm以上 60cm以下																																																																		
ホイールローダ 運転	排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.3~1.4m(バケツ)	日	1.5km未満	1.34	1.52																																																																		
			1.5km以上 3.0km以下	0.42	0.82																																																																		
			10cm以上 30cm未満	30cm以上 60cm以下	差																																																																		
0.42	0.82	0.40																																																																					

# 土木工事積算基準 の 改定・追加・訂正

適用年月日  
(令和6年(2024年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	ページ	現 行	改 定	備 考																																																																		
共通編 105 仮設工 運用資料 105-330 除雪工	仮設 ー 7 1	<p>105-330-03 工事区域内除雪(平面部)</p> <p style="text-align: right;">施工単価コード DX081120</p> <p style="text-align: center;">表2.3 工事区域内除雪歩掛(平面部) (1000m<sup>2</sup>当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="3">除雪面積</th> </tr> <tr> <th>500m<sup>2</sup>未満</th> <th>500m<sup>2</sup>以上 1,000m<sup>2</sup>未満</th> <th>1,000m<sup>2</sup>以上 3,000m<sup>2</sup>未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">0.13</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">0.29</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)運転</td> <td>排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m<sup>2</sup>(平積0.6m<sup>2</sup>)</td> <td>日</td> <td style="text-align: center;">0.78</td> <td style="text-align: center;">0.50</td> <td style="text-align: center;">0.31</td> </tr> <tr> <td>諸雑费率</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 除雪深が40cm以下の工事に適用する。                      2. 上表は工事区域内で雪が作業の支障となる場合の除雪の内、平面部除雪の場合のみ適用する。                      3. 除雪回数の積上げについては、必要回数を計上する。                      4. 上表により難い場合は別途考慮する。                      5. 除雪深が<del>適用</del>範囲を超えている場合は、補正係数(積雪深補正)をかけて積算する。(例参照)                      6. 対象面積の適用範囲を超えている場合はセット数を増やす。                      7. 諸雑費はスコップの費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>例1) <del>対象積雪深が80cmの場合の補正係数は、</del>  <del>80cm/40cm=2.00……補正係数</del></p> <p style="text-align: center;"><del>~~~~~</del></p> <p>※補正係数及び補正後の歩掛値は小数第2位までとし、小数第3位を四捨五入する。</p>	名 称	規 格	単 位	除雪面積			500m <sup>2</sup> 未満	500m <sup>2</sup> 以上 1,000m <sup>2</sup> 未満	1,000m <sup>2</sup> 以上 3,000m <sup>2</sup> 未満	土木一般世話役		人	0.13			普通作業員		人	0.29			バックホウ (クローラ型)運転	排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m <sup>2</sup> (平積0.6m <sup>2</sup> )	日	0.78	0.50	0.31	諸雑费率		%	2			<p>105-330-03 工事区域内除雪(平面部)</p> <p style="text-align: right;">施工単価コード DX081120</p> <p style="text-align: center;">表2.3 工事区域内除雪歩掛(平面部) (1000m<sup>2</sup>当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="3">除雪面積</th> </tr> <tr> <th>500m<sup>2</sup>未満</th> <th>500m<sup>2</sup>以上 1,000m<sup>2</sup>未満</th> <th>1,000m<sup>2</sup>以上 3,000m<sup>2</sup>未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">0.13</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">0.29</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)運転</td> <td>排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m<sup>2</sup>(平積0.6m<sup>2</sup>)</td> <td>日</td> <td style="text-align: center;">0.78</td> <td style="text-align: center;">0.50</td> <td style="text-align: center;">0.31</td> </tr> <tr> <td>諸雑费率</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 除雪深が40cm以下の工事に適用する。                      2. 上表は工事区域内で雪が作業の支障となる場合の除雪の内、平面部除雪の場合のみ適用する。                      3. 除雪回数の積上げについては、必要回数を計上する。                      4. 上表により難い場合は別途考慮する。                      5. 除雪深が<del>適用</del>範囲を超えている場合は、補正係数(積雪深補正)をかけて積算する。(例参照)                      6. 対象面積の適用範囲を超えている場合はセット数を増やす。                      7. 諸雑費はスコップの費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>例) <del>除雪面積が500m<sup>2</sup>未満、対象積雪深が80cmの場合の補正係数は、</del>  <del>80cm/40cm=2.00……補正係数</del>  <del>除雪面積500m<sup>2</sup>未満のバックホウ運転日数(0.78)に補正係数(2.00)を乗じ、</del>  <del>(1.56)とする。</del></p> <p>※補正係数及び補正後の歩掛値は小数第2位までとし、小数第3位を四捨五入する。</p>	名 称	規 格	単 位	除雪面積			500m <sup>2</sup> 未満	500m <sup>2</sup> 以上 1,000m <sup>2</sup> 未満	1,000m <sup>2</sup> 以上 3,000m <sup>2</sup> 未満	土木一般世話役		人	0.13			普通作業員		人	0.29			バックホウ (クローラ型)運転	排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m <sup>2</sup> (平積0.6m <sup>2</sup> )	日	0.78	0.50	0.31	諸雑费率		%	2			誤記の訂正 及び追記
名 称	規 格	単 位				除雪面積																																																																
			500m <sup>2</sup> 未満	500m <sup>2</sup> 以上 1,000m <sup>2</sup> 未満	1,000m <sup>2</sup> 以上 3,000m <sup>2</sup> 未満																																																																	
土木一般世話役		人	0.13																																																																			
普通作業員		人	0.29																																																																			
バックホウ (クローラ型)運転	排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m <sup>2</sup> (平積0.6m <sup>2</sup> )	日	0.78	0.50	0.31																																																																	
諸雑费率		%	2																																																																			
名 称	規 格	単 位	除雪面積																																																																			
			500m <sup>2</sup> 未満	500m <sup>2</sup> 以上 1,000m <sup>2</sup> 未満	1,000m <sup>2</sup> 以上 3,000m <sup>2</sup> 未満																																																																	
土木一般世話役		人	0.13																																																																			
普通作業員		人	0.29																																																																			
バックホウ (クローラ型)運転	排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m <sup>2</sup> (平積0.6m <sup>2</sup> )	日	0.78	0.50	0.31																																																																	
諸雑费率		%	2																																																																			

# 土木工事積算基準 の 改定・追加・訂正

適用年月日  
(令和6年(2024年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	ページ	現 行	改 定	備 考																																																																		
共通編 105 仮設工 運用資料 105-330 除雪工 2. 施工歩掛	仮設 ー 7 2	<p>105-330-04 工事区域内除雪(作工物周辺・法面部)</p> <p style="text-align: right;">施工単価コード DX081120</p> <p style="text-align: center;">表2.4 工事区域内除雪歩掛(作工物周辺・法面部) (1000m<sup>2</sup>当り)</p> <table border="1" data-bbox="528 534 1496 913"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="3">除雪面積</th> </tr> <tr> <th>500m<sup>2</sup>未満</th> <th>500m<sup>2</sup>以上 1,000m<sup>2</sup>未満</th> <th>1,000m<sup>2</sup>以上 4,000m<sup>2</sup>未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td colspan="3">0.22</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td colspan="3">1.35</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)運転</td> <td>排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m<sup>2</sup>(平積0.6m<sup>2</sup>)</td> <td>日</td> <td>1.14</td> <td>0.82</td> <td>0.36</td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="3">2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 除雪深が60cm以下の除雪に適用する。                      2. 上表は工事区域内で雪が作業の支障となる場合の除雪の内、作工物周辺・法面部除雪の場合のみ適用する。                      3. 除雪回数の積上げについては、必要回数を計上する。                      4. 上表により難い場合は別途考慮する。                      5. なお、機械除雪が困難な場合は人力除雪とする。                      6. 除雪深が 範囲を超えている場合は、補正係数(積雪深補正)をかけて積算する。(例参照)                      7. 対象面積の適用範囲を超えている場合はセット数を増やす。                      8. 諸雑費はスコップの費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>例) 対象積雪深が80cmの場合の補正係数は、  <math>80\text{cm}/60\text{cm} = 1.33\cdots</math> 補正係数</p> <p>※補正係数及び補正後の歩掛値は小数第2位までとし、小数第3位を四捨五入する。</p>	名 称	規 格	単 位	除雪面積			500m <sup>2</sup> 未満	500m <sup>2</sup> 以上 1,000m <sup>2</sup> 未満	1,000m <sup>2</sup> 以上 4,000m <sup>2</sup> 未満	土木一般世話役		人	0.22			普通作業員		人	1.35			バックホウ (クローラ型)運転	排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m <sup>2</sup> (平積0.6m <sup>2</sup> )	日	1.14	0.82	0.36	諸雑費率		%	2			<p>105-330-04 工事区域内除雪(作工物周辺・法面部)</p> <p style="text-align: right;">施工単価コード DX081120</p> <p style="text-align: center;">表2.4 工事区域内除雪歩掛(作工物周辺・法面部) (1000m<sup>2</sup>当り)</p> <table border="1" data-bbox="1525 534 2493 913"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="3">除雪面積</th> </tr> <tr> <th>500m<sup>2</sup>未満</th> <th>500m<sup>2</sup>以上 1,000m<sup>2</sup>未満</th> <th>1,000m<sup>2</sup>以上 4,000m<sup>2</sup>未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td colspan="3">0.22</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td colspan="3">1.35</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型)運転</td> <td>排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m<sup>2</sup>(平積0.6m<sup>2</sup>)</td> <td>日</td> <td>1.14</td> <td>0.82</td> <td>0.36</td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="3">2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 除雪深が60cm以下の除雪に適用する。                      2. 上表は工事区域内で雪が作業の支障となる場合の除雪の内、作工物周辺・法面部除雪の場合のみ適用する。                      3. 除雪回数の積上げについては、必要回数を計上する。                      4. 上表により難い場合は別途考慮する。                      5. なお、機械除雪が困難な場合は人力除雪とする。                      6. 除雪深が範囲を超えている場合は、補正係数(積雪深補正)をかけて積算する。(例参照)                      7. 対象面積の適用範囲を超えている場合はセット数を増やす。                      8. 諸雑費はスコップの費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>例) 除雪面積が500m<sup>2</sup>未満、対象積雪深が80cmの場合の補正係数は、  <math>80\text{cm}/60\text{cm} = 1.33\cdots</math> 補正係数                      除雪面積500m<sup>2</sup>未満のバックホウ運転日数(1.14)に補正係数(1.33)を乗じ、  <math>(1.14) \times (1.33) = 1.52</math> とする。</p> <p>※補正係数及び補正後の歩掛値は小数第2位までとし、小数第3位を四捨五入する。</p>	名 称	規 格	単 位	除雪面積			500m <sup>2</sup> 未満	500m <sup>2</sup> 以上 1,000m <sup>2</sup> 未満	1,000m <sup>2</sup> 以上 4,000m <sup>2</sup> 未満	土木一般世話役		人	0.22			普通作業員		人	1.35			バックホウ (クローラ型)運転	排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m <sup>2</sup> (平積0.6m <sup>2</sup> )	日	1.14	0.82	0.36	諸雑費率		%	2			誤記の訂正 及び追記
名 称	規 格	単 位				除雪面積																																																																
			500m <sup>2</sup> 未満	500m <sup>2</sup> 以上 1,000m <sup>2</sup> 未満	1,000m <sup>2</sup> 以上 4,000m <sup>2</sup> 未満																																																																	
土木一般世話役		人	0.22																																																																			
普通作業員		人	1.35																																																																			
バックホウ (クローラ型)運転	排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m <sup>2</sup> (平積0.6m <sup>2</sup> )	日	1.14	0.82	0.36																																																																	
諸雑費率		%	2																																																																			
名 称	規 格	単 位	除雪面積																																																																			
			500m <sup>2</sup> 未満	500m <sup>2</sup> 以上 1,000m <sup>2</sup> 未満	1,000m <sup>2</sup> 以上 4,000m <sup>2</sup> 未満																																																																	
土木一般世話役		人	0.22																																																																			
普通作業員		人	1.35																																																																			
バックホウ (クローラ型)運転	排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m <sup>2</sup> (平積0.6m <sup>2</sup> )	日	1.14	0.82	0.36																																																																	
諸雑費率		%	2																																																																			

# 土木工事積算基準 の 改定・追加・訂正

適用年月日  
(令和6年(2024年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	ページ	現 行	改 定	備 考																																																																																																																			
共通編 105 仮設工 運用資料 105-330 除雪工 3. 単価表	仮設 ー 75	<p>3. 単 価 表</p> <p>(1) 人力除雪10m<sup>3</sup>当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表2.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 工事用道路除雪1km当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホイールローダ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) 山積1.3~1.4m<sup>3</sup>(バケツ)</td> <td>日</td> <td></td> <td>表2.2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 工事区域内除雪(平面部)1000m<sup>2</sup>当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホイールローダ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) 山積1.3~1.4m<sup>3</sup>(バケツ)</td> <td>日</td> <td></td> <td>表2.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 工事区域内除雪(作工物周辺・法面部)1000m<sup>2</sup>当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m<sup>3</sup> (平積0.6m<sup>3</sup>)</td> <td>日</td> <td></td> <td>表2.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	備 考	普 通 作 業 員		人		表2.1	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	備 考	ホイールローダ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) 山積1.3~1.4m <sup>3</sup> (バケツ)	日		表2.2	計					名 称	規 格	単 位	数 量	備 考	ホイールローダ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) 山積1.3~1.4m <sup>3</sup> (バケツ)	日		表2.3	計					名 称	規 格	単 位	数 量	備 考	バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )	日		表2.4	計					<p>3. 単 価 表</p> <p>(1) 人力除雪10m<sup>3</sup>当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表2.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 工事用道路除雪1km当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホイールローダ運転</td> <td>排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.3~1.4m<sup>3</sup>(バケツ)</td> <td>日</td> <td></td> <td>表2.2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 工事区域内除雪(平面部・作工物周辺・法面部)1000m<sup>2</sup>当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(2014年規制) クローラ型 山積0.8m<sup>3</sup> (平積0.6m<sup>3</sup>)</td> <td>日</td> <td></td> <td>表2.3、2.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	備 考	普 通 作 業 員		人		表2.1	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	備 考	ホイールローダ運転	排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.3~1.4m <sup>3</sup> (バケツ)	日		表2.2	計					名 称	規 格	単 位	数 量	備 考	バックホウ運転	排出ガス対策型(2014年規制) クローラ型 山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )	日		表2.3、2.4	計					前ページとの 齟齬の修正
名 称	規 格	単 位	数 量	備 考																																																																																																																			
普 通 作 業 員		人		表2.1																																																																																																																			
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																			
計																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	備 考																																																																																																																			
ホイールローダ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) 山積1.3~1.4m <sup>3</sup> (バケツ)	日		表2.2																																																																																																																			
計																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	備 考																																																																																																																			
ホイールローダ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) 山積1.3~1.4m <sup>3</sup> (バケツ)	日		表2.3																																																																																																																			
計																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	備 考																																																																																																																			
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )	日		表2.4																																																																																																																			
計																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	備 考																																																																																																																			
普 通 作 業 員		人		表2.1																																																																																																																			
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																			
計																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	備 考																																																																																																																			
ホイールローダ運転	排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.3~1.4m <sup>3</sup> (バケツ)	日		表2.2																																																																																																																			
計																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	備 考																																																																																																																			
バックホウ運転	排出ガス対策型(2014年規制) クローラ型 山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )	日		表2.3、2.4																																																																																																																			
計																																																																																																																							

# 土木工事積算基準 の 改定・追加・訂正

適用年月日  
(令和6年(2024年)10月1日以降積算基準日適用)

区分	ページ	現 行	改 定	備 考																																																																																				
共通編 105 仮設工 運用資料 105-330 除雪工 3. 単価表	仮設 ー 7 6	<p>(5) 機械運転単価表</p> <p>ホイールローダ (ダンプ搬出除雪) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">施工単価コード DX022600</span></p> <p>バックホウ (工事区域内除雪、ダンプ搬出除雪) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">施工単価コード DX022400</span></p> <p>ダンプトラック (ダンプ搬出除雪) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">施工単価コード DX023000</span></p> <table border="1" data-bbox="594 592 1422 937"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホイールローダ (工事用道路除雪)</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) 山積1.3~1.4m<sup>3</sup></td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>ホイールローダ (工事区域内除雪)</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) 山積1.3~1.4m<sup>3</sup></td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>ホイールローダ (ダンプ搬出除雪)</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 山積1.3~1.4m<sup>3</sup></td> <td>「108機械工による」</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (工事区域内除雪) (ダンプ搬出除雪)</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m<sup>3</sup> (平積0.6m<sup>3</sup>)</td> <td>「108機械工による」</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック (ダンプ搬出除雪)</td> <td>10t積級</td> <td>「108機械工による」</td> </tr> </tbody> </table> <p>表3.1 ホイールローダ運転費 (工事区域内除雪) (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="594 1030 1422 1195"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運 転 手 (特 殊)</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>軽 油</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td>4.2</td> </tr> <tr> <td>賃 料</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) 山積1.3~1.4m<sup>3</sup></td> <td>供用日</td> <td>1.55</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">施工単価コード DX081700</span></p>	機 械 名	規 格	適用単価表	ホイールローダ (工事用道路除雪)	排出ガス対策型(第2次基準値) 山積1.3~1.4m <sup>3</sup>	表3.1	ホイールローダ (工事区域内除雪)	排出ガス対策型(第2次基準値) 山積1.3~1.4m <sup>3</sup>	表3.1	ホイールローダ (ダンプ搬出除雪)	排出ガス対策型(第1次基準値) 山積1.3~1.4m <sup>3</sup>	「108機械工による」	バックホウ (工事区域内除雪) (ダンプ搬出除雪)	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )	「108機械工による」	ダンプトラック (ダンプ搬出除雪)	10t積級	「108機械工による」	名 称	規 格	単 位	数 量	運 転 手 (特 殊)		人	1.00	軽 油		ℓ	4.2	賃 料	排出ガス対策型(第2次基準値) 山積1.3~1.4m <sup>3</sup>	供用日	1.55	<p>(5) 機械運転単価表</p> <p>ホイールローダ (ダンプ搬出除雪) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">施工単価コード DX022600</span></p> <p>バックホウ (工事区域内除雪、ダンプ搬出除雪) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">施工単価コード DX022400</span></p> <p>ダンプトラック (ダンプ搬出除雪) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">施工単価コード DX023000</span></p> <table border="1" data-bbox="1587 592 2416 961"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホイールローダ (工事用道路除雪)</td> <td>排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.3~1.4m<sup>3</sup></td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>ホイールローダ (ダンプ搬出除雪)</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 山積1.3~1.4m<sup>3</sup></td> <td>「108機械工による」</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (工事区域内除雪)</td> <td>排出ガス対策型(2014年規制) クローラ型 山積0.8m<sup>3</sup> (平積0.6m<sup>3</sup>)</td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (ダンプ搬出除雪)</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m<sup>3</sup> (平積0.6m<sup>3</sup>)</td> <td>「108機械工による」</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック (ダンプ搬出除雪)</td> <td>10t積級</td> <td>「108機械工による」</td> </tr> </tbody> </table> <p>表3.1 ホイールローダ運転費 (工事用道路除雪) (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="1587 1054 2416 1221"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運 転 手 (特 殊)</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>軽 油</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td>4.4</td> </tr> <tr> <td>賃 料</td> <td>排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.3~1.4m<sup>3</sup></td> <td>日</td> <td>4.73</td> </tr> </tbody> </table> <p>表3.2 バックホウ運転費 (工事区域内除雪) (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="1587 1336 2416 1514"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運 転 手 (特 殊)</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>軽 油</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td>10.7</td> </tr> <tr> <td>賃 料</td> <td>排出ガス対策型(2014年規制値) クローラ型 山積0.8m<sup>3</sup> (平積0.6m<sup>3</sup>)</td> <td>日</td> <td>1.64</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">施工単価コード DX020220</span></p>	機 械 名	規 格	適用単価表	ホイールローダ (工事用道路除雪)	排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.3~1.4m <sup>3</sup>	表3.1	ホイールローダ (ダンプ搬出除雪)	排出ガス対策型(第1次基準値) 山積1.3~1.4m <sup>3</sup>	「108機械工による」	バックホウ (工事区域内除雪)	排出ガス対策型(2014年規制) クローラ型 山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )	表3.2	バックホウ (ダンプ搬出除雪)	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )	「108機械工による」	ダンプトラック (ダンプ搬出除雪)	10t積級	「108機械工による」	名 称	規 格	単 位	数 量	運 転 手 (特 殊)		人	1.00	軽 油		ℓ	4.4	賃 料	排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.3~1.4m <sup>3</sup>	日	4.73	名 称	規 格	単 位	数 量	運 転 手 (特 殊)		人	1.00	軽 油		ℓ	10.7	賃 料	排出ガス対策型(2014年規制値) クローラ型 山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )	日	1.64	前ページとの 齟齬の修正 並びに 機械運転の 改定及び追加
機 械 名	規 格	適用単価表																																																																																						
ホイールローダ (工事用道路除雪)	排出ガス対策型(第2次基準値) 山積1.3~1.4m <sup>3</sup>	表3.1																																																																																						
ホイールローダ (工事区域内除雪)	排出ガス対策型(第2次基準値) 山積1.3~1.4m <sup>3</sup>	表3.1																																																																																						
ホイールローダ (ダンプ搬出除雪)	排出ガス対策型(第1次基準値) 山積1.3~1.4m <sup>3</sup>	「108機械工による」																																																																																						
バックホウ (工事区域内除雪) (ダンプ搬出除雪)	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )	「108機械工による」																																																																																						
ダンプトラック (ダンプ搬出除雪)	10t積級	「108機械工による」																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																																					
運 転 手 (特 殊)		人	1.00																																																																																					
軽 油		ℓ	4.2																																																																																					
賃 料	排出ガス対策型(第2次基準値) 山積1.3~1.4m <sup>3</sup>	供用日	1.55																																																																																					
機 械 名	規 格	適用単価表																																																																																						
ホイールローダ (工事用道路除雪)	排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.3~1.4m <sup>3</sup>	表3.1																																																																																						
ホイールローダ (ダンプ搬出除雪)	排出ガス対策型(第1次基準値) 山積1.3~1.4m <sup>3</sup>	「108機械工による」																																																																																						
バックホウ (工事区域内除雪)	排出ガス対策型(2014年規制) クローラ型 山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )	表3.2																																																																																						
バックホウ (ダンプ搬出除雪)	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )	「108機械工による」																																																																																						
ダンプトラック (ダンプ搬出除雪)	10t積級	「108機械工による」																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																																					
運 転 手 (特 殊)		人	1.00																																																																																					
軽 油		ℓ	4.4																																																																																					
賃 料	排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.3~1.4m <sup>3</sup>	日	4.73																																																																																					
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																																					
運 転 手 (特 殊)		人	1.00																																																																																					
軽 油		ℓ	10.7																																																																																					
賃 料	排出ガス対策型(2014年規制値) クローラ型 山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )	日	1.64																																																																																					

## 102-110 場所打擁壁工

「土木工事標準積算基準書（共通編）第Ⅱ編 共通工 第2章 共通工 ⑤ 場所打擁壁工」を適用する。

## 102-120 プレキャスト擁壁工

「土木工事標準積算基準書（共通編）第Ⅱ編 共通工 第2章 共通工 ⑥ プレキャスト擁壁工」を適用する。

## 102-130 補強土壁工（帯鋼補強土壁、アンカー補強土壁、ジオテキスタイル補強土壁）

「土木工事標準積算基準書（共通編）第Ⅱ編 共通工 第2章 共通工 ⑦ 補強土壁工（帯鋼補強土壁、アンカー補強土壁、ジオテキスタイル補強土壁）」を適用する。

## 102-140 補強土壁工

「土木工事標準積算基準書（共通編）第Ⅱ編 共通工 第2章 共通工 ⑧ 補強盛土工」を適用する。

## 102-150 構造物補修工

「土木工事標準積算基準書（共通編）第Ⅱ編 共通工 第2章 共通工 ⑨ 構造物補修工」を適用する。

## 102-160 排水構造物工

「土木工事標準積算基準書（共通編）第Ⅱ編 共通工 第2章 共通工 ⑩ 排水構造物工 ⑩-1 排水構造物工」を適用する。

なお、鉄筋コンクリート管設置工、プレキャスト基礎板設置、皿形側溝設置、2800kgを超える柵設置工は「運用資料」を適用する。

## 102-170 排水構造物工（現場打ち水路（本体））

「土木工事標準積算基準書（共通編）第Ⅱ編 共通工 第2章 共通工 ⑩ 排水構造物工 ⑩-2 排水構造物工（現場打ち水路（本体））」を適用する。

## 102-180 排水構造物工（現場打ち集水柵・街渠柵（本体））

「土木工事標準積算基準書（共通編）第Ⅱ編 共通工 第2章 共通工 ⑩ 排水構造物工 ⑩-3 排水構造物工（現場打ち集水柵・街渠柵（本体））」を適用する。

## 102-190 軟弱地盤処理工

「土木工事標準積算基準書（共通編）第Ⅱ編 共通工 第2章 共通工 ⑪ 軟弱地盤処理工」を適用する。  
なお、サンドマット工に先行して土木安定シートを施工する場合は「運用資料」を適用する。

## 102-200 薬液注入工

「土木工事標準積算基準書（共通編）第Ⅱ編 共通工 第2章 共通工 ⑫ 薬液注入工」を適用する。



## 102-080 コンクリートブロック積（張）工

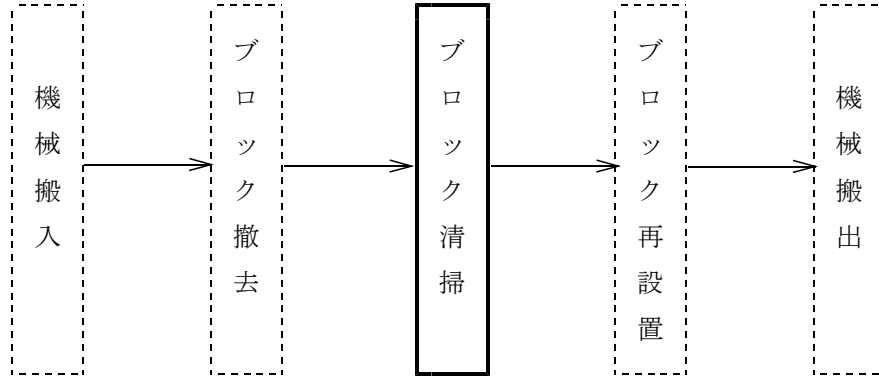
### 1. 連節ブロック清掃工

#### 1-1 適用範囲

本資料は、連節ブロック150kg/個未満の再設置に係るブロック清掃に適用する。

#### 1-2 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。



注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

#### 1-3 施工歩掛

##### 連節ブロック清掃工

連節ブロック清掃工歩掛は、次表を標準とする。

施工単価コード	DX102200
---------	----------

表3.1 連節ブロック清掃工歩掛 (100m<sup>2</sup>当り)

名称	規格	単位	通常期	厳冬期
土木一般世話役		人	0.63	3.05
普通作業員		〃	9.60	15.19
諸雑費		%	7	17

- 注) 1. 孔が土砂や木くず等で目詰まりし、ドリルで穿孔作業等が必要な場合に本歩掛を計上する。棒鋼で突く程度の簡易な清掃の場合は、本歩掛を計上しない。
2. 孔が凍結している場合は、厳冬期を適用する。
3. 通常期の諸雑費は、孔清掃に係るドリル、洗浄機等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。
4. 厳冬期の諸雑費は、孔清掃に係る加熱及びドリル、洗浄機等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。



105-230	法面工（仮設用モルタル吹付工）	仮設	3
105-240	交通誘導警備員	仮設	3
105-250	矢板・H形鋼打込工（バックホウ装着式油圧パイプロハンマ）	仮設	3
105-260	仮設昇降用階段工	仮設	3
105-270	仮設落石防護柵工	仮設	3
105-280	急傾斜防止工事用防護柵工	仮設	3
105-290	とい排水工	仮設	3
105-300	公安委員会指定委任信号機設置	仮設	3
105-310	冬期施工の積算について	仮設	3
105-320	結氷対策工	仮設	3
105-330	除雪工	仮設	3
	運用資料	仮設	5
105-010	仮設工	仮設	7
105-100	締切排水工	仮設	8
105-120	土のう工	仮設	9
105-160	雪寒仮囲い工	仮設	10
105-240	交通誘導警備員	仮設	12
105-250	矢板・H形鋼打込工（バックホウ装着式油圧パイプロハンマ）	仮設	12
105-260	仮設昇降用階段工	仮設	21
105-270	仮設落石防護柵工	仮設	22
105-280	急傾斜防止工事用防護柵	仮設	24
105-290	とい排水工	仮設	27
105-300	公安委員会指定委任信号機設置	仮設	31
105-310	冬期施工の積算について	仮設	39
105-320	河川工事の結氷対策工	仮設	65
105-330	除雪工	仮設	69
105-340	環境対策資機材（クリーンルーム・負圧集塵装置）設置撤去工	仮設	77

2. 施工歩掛

105-330-01 人力除雪

施工単価コード	DX081000
---------	----------

表2.1 人力除雪歩掛 (10m<sup>3</sup>当り)

名 称	単 位	数 量
土木一般世話役	人	0.04
普通作業員	人	0.43
諸雑费率	%	2

- (注) 1. 機械除雪が困難な場合に適用する。  
 2. 諸雑費は人力除雪に使用するスコップ等の費用であり、労務費に上表の率を乗じた金額を計上する。  
 3. 仮囲い屋根部の除雪については、「土木工事標準積算基準書(共通編)第5章 仮設工 雪寒仮囲い工」によること。

105-330-02 工事用道路除雪

施工単価コード	DX081100
---------	----------

表2.2 工事用道路除雪歩掛 (1km当り)

名 称	規 格	単 位	施工延長	除 雪 深	
				10cm以上 30cm未満	30cm以上 60cm以下
ホイールローダ 運転	排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.3~1.4m <sup>3</sup> (バケット)	日	1.5km未満	1.34	1.52
			1.5km以上 3.0km以下	0.42	0.82

- (注) 1. 工事用道路の除雪に適用し、現場の作業場等の除雪には適用しない。  
 2. 除雪回数の積上げについては、必要回数を計上する。  
 3. 除雪深が範囲を超えている場合は、補正係数(積雪深補正)をかけて積算する。(例参照)  
 4. 対象延長の適用範囲を超えている場合はセット数を増やす。

例) 対象除雪深が70cmの場合(施工延長1.5km以上3.0km以下)

10~30cmと31~60cmとの歩掛から、30cm積雪深が増える毎にホイールローダの作業は0.40日増となっている。

$$\{0.82日 + 0.40日 \times (70 - 60) \div 30\} \div 0.82日 = 1.16 \dots \dots \text{補正係数}$$

10cm以上 30cm未満	30cm以上 60cm以下	差
0.42	0.82	0.40

※補正係数及び補正後の歩掛値(運転日数)は小数第2位までとし、小数第3位を四捨五入する。

105-330-03 工事区域内除雪（平面部）

施工単価コード	DX081120
---------	----------

表2.3 工事区域内除雪歩掛（平面部）（1000m<sup>2</sup>当り）

名 称	規 格	単 位	除雪面積		
			500m <sup>2</sup> 未満	500m <sup>2</sup> 以上 1,000m <sup>2</sup> 未満	1,000m <sup>2</sup> 以上 3,000m <sup>2</sup> 未満
土木一般世話役		人	0.13		
普通作業員		人	0.29		
バックホウ (クローラ型)運転	排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )	日	0.78	0.50	0.31
諸雑费率		%	2		

- (注) 1. 除雪深が40cm以下の工事に適用する。  
 2. 上表は工事区域内で雪が作業の支障となる場合の除雪の内、平面部除雪の場合のみ適用する。  
 3. 除雪回数の積上げについては、必要回数を計上する。  
 4. 上表により難しい場合は別途考慮する。  
 5. 除雪深が適用範囲を超えている場合は、補正係数（積雪深補正）をかけて積算する。（例参照）  
 6. 対象面積の適用範囲を超えている場合はセット数を増やす。  
 7. 諸雑費はスコープの費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

例) 除雪面積が500m<sup>2</sup>未満、対象積雪深が80cmの場合の補正係数は、  
 $80\text{cm} / 40\text{cm} = 2.00$ ……………補正係数  
 除雪面積500m<sup>2</sup>未満のバックホウ運転日数（0.78）に補正係数（2.00）を乗じ、  
 （1.56）とする。

※補正係数及び補正後の歩掛値は小数第2位までとし、小数第3位を四捨五入する。

105-330-04 工事区域内除雪（作工物周辺・法面部）

施工単価コード	DX081120
---------	----------

表2.4 工事区域内除雪歩掛（作工物周辺・法面部）（1000m<sup>2</sup>当り）

名 称	規 格	単 位	除雪面積		
			500m <sup>2</sup> 未満	500m <sup>2</sup> 以上 1,000m <sup>2</sup> 未満	1,000m <sup>2</sup> 以上 4,000m <sup>2</sup> 未満
土木一般世話役		人	0.22		
普通作業員		人	1.35		
バックホウ (クローラ型)運転	排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> )	日	1.14	0.82	0.36
諸雑费率		%	2		

- (注) 1. 除雪深が60cm以下の除雪に適用する。  
 2. 上表は工事区域内で雪が作業の支障となる場合の除雪の内、作工物周辺・法面部除雪の場合のみ適用する。  
 3. 除雪回数の積上げについては、必要回数を計上する。  
 4. 上表により難しい場合は別途考慮する。  
 5. なお、機械除雪が困難な場合は人力除雪とする。  
 6. 除雪深が範囲を超えている場合は、補正係数（積雪深補正）をかけて積算する。（例参照）  
 7. 対象面積の適用範囲を超えている場合はセット数を増やす。  
 8. 諸雑費はスコープの費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

例) 除雪面積が500m<sup>2</sup>未満、対象積雪深が80cmの場合の補正係数は、  
 $80\text{cm} / 60\text{cm} = 1.33 \dots \dots$ 補正係数  
 除雪面積500m<sup>2</sup>未満のバックホウ運転日数（1.14）に補正係数（1.33）を乗じ、  
 （1.52）とする。

※補正係数及び補正後の歩掛値は小数第2位までとし、小数第3位を四捨五入する。

### 3. 単 価 表

(1) 人力除雪 10 m<sup>3</sup>当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
普 通 作 業 員		人		表2.1
諸 雑 費		式	1	〃
計				

(2) 工事用道路除雪 1 km当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
ホイールローダ運転	排出ガス対策型(2011年規制) 山積 1.3 ~ 1.4 m <sup>3</sup> (バケット)	日		表2.2
計				

(3) 工事区域内除雪 (平面部、作工物周辺・法面部) 1000 m<sup>2</sup>当り単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
バックホウ運転	排出ガス対策型(2014年規制) クローラ型 山積 0.8 m <sup>3</sup> (平積 0.6 m <sup>3</sup> )	日		表2.4
計				

(5) 機械運転単価表

ホイールローダ (ダンプ搬出除雪)

施工単価コード	DX022600
---------	----------

バックホウ (工事区域内除雪、ダンプ搬出除雪)

施工単価コード	DX022400
---------	----------

ダンプトラック (ダンプ搬出除雪)

施工単価コード	DX023000
---------	----------

機 械 名	規 格	適用単価表
ホイールローダ (工事用道路除雪)	排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.3～1.4 m <sup>3</sup>	表3.1
ホイールローダ (ダンプ排出除雪)	排出ガス対策型(第1次基準値) 山積1.3～1.4 m <sup>3</sup>	「108機械工による」
バックホウ (工事区域内除雪)	排出ガス対策型(2014年規制) クローラ型 山積0.8 m <sup>3</sup> (平積0.6 m <sup>3</sup> )	表3.2
バックホウ (ダンプ搬出除雪)	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.8 m <sup>3</sup> (平積0.6 m <sup>3</sup> )	「108機械工による」
ダンプトラック (ダンプ搬出除雪)	10 t 積級	「108機械工による」

表3.1 ホイールローダ運転費 (工事用道路除雪)

(1日当り)

施工単価コード	DX081700
---------	----------

名 称	規 格	単 位	数 量
運 転 手 ( 特 殊 )		人	1.00
軽 油		ℓ	44
賃 料	排出ガス対策型(2011年規制) 山積1.3～1.4 m <sup>3</sup>	日	4.73

表3.2 バックホウ運転費 (工事区域内除雪)

(1日当り)

施工単価コード	DX020220
---------	----------

名 称	規 格	単 位	数 量
運 転 手 ( 特 殊 )		人	1.00
軽 油		ℓ	107
賃 料	排出ガス対策型(2014年規制値) クローラ型 山積0.8 m <sup>3</sup> (平積0.6 m <sup>3</sup> )	日	1.64